

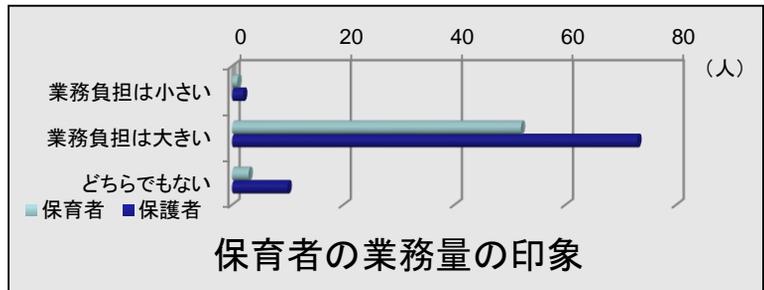
課題名：ICTの導入による保育業務効率化に関する研究
 研究代表者：社会福祉学部 准教授 井上孝之
 課題提案者：岩手県保健福祉部、岩手県社会福祉協議会
 研究メンバー：佐々木 淳（ソフトウェア情報学部）、日向秀樹（岩手県保健福祉部）、
 星 拓史（岩手県社会福祉協議会）
 技術キーワード：ICT化推進、子ども・子育て新制度、保育業務支援システム

▼研究の概要（背景・目標）

平成28年、厚生労働省は「ICT化推進のための保育業務支援システムの導入に必要な経費の一部を補助する」ことを示した。本研究では、岩手県内の保育士や保護者のICTへの関心や意向を探り、保育業務の効率化や有益なICT導入のあり方を明らかにする。

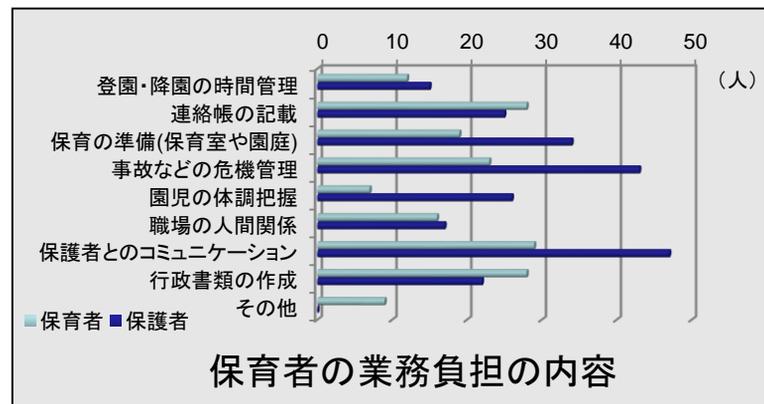
▼研究の内容（方法・経過）

1. 調査対象：①保育者56名（園長、主任保育士） ②保護者85名（二戸市他）
2. 調査内容：①ICT化による業務軽減についてワールド・カフェを通して集合知を回収・分析した。②保育者の負担感やICT導入による期待等をインタビュー調査。
3. 調査期間：①2016年12月 ②2016年9月～10月



▼研究の成果（結論・考察）

1. 保育者も保護者も、保育業務は負担が大きいと感じている。双方とも人間関係づくりに負担を感じている。
2. 保育者は「連絡帳の記載」や「行政書類の作成」に負担を感じている。
3. 保護者は「園の保育内容がわかる」「園からの連絡の迅速さ」を上位に挙げている。



▼おわりに（まとめ・今後の展開）

1. これらの結果から、保育者には文書作成にかかる負担をICT化により軽減して行くことが求められる。
2. 保護者には、保育内容や園との連携にかかる不安解消に役立つコンテンツの開発が課題である。
3. 調査実施にあたり、ご協力いただいた岩手ITの阿部氏、幸野氏に感謝申し上げます。